八潮だより

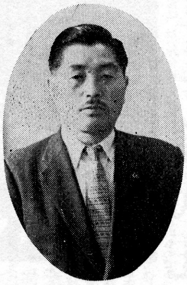
第30号

発行所 八潮公民館
発行人 会田 悠治
編集人 大山 昌吾

統合中学を建設

農業振興や工場誘致も

村民の福祉増進のために



就任のあいさつ

村長 恩田 理三郎

親愛なる八潮村民の皆様に申し上げます。今般行なわれた八潮村長選挙にあたり、村議会議員の皆様を始めとし各種団体の役員各位と村民多数のご推せんを賜わり立候補いたしましたところ、幸い無投票当選となり深く感激いたしておりますと共に私の生涯を通じ味わい得ない幸福の最大であり且つ喜悦の極で心から厚く謝意を表する次第であります。

顧りみますれば昭和三十一年十一月、八潮村の初代村長に就任以来今日まで、村民各位より寄せられました愛村の熱情は、行政執行者として終生忘られない幸福であり深く感謝申上げます。

然るに在任四年の間何ら見るべき業績もなくほんとうに申し訳なくおわび申上げる次第でございます。皆様ご承知のとおりわが八潮村は日に日に進展してまいりまして新村発足以来一三七世帯、六八一人の人口増加を見ており、更に新設の工場、事務所の数は二十社以上、既設の工場増設に伴う資本投下を累計すれば二十数億円にも垂れんとして目覚しい発展ぶりを示しております。

この時にあたり村長として再び就任いたしました不肖私は、今後の施設の方針を次のように推進いたしたいと存じます。

第一に統合中学校の建設と教育施設の整備拡充を図る。

第二に工業開発に伴う優良工場の誘致と工業用水道新設に協力する。

第三に健全財政の堅持と財政投資の適正を図る。

第四に道路、橋梁、用排水路を整備する。

第五土地改良を促進し農業振興を企画する。

以上のことを主眼とし、あくまでも村民の福祉の増進と文化的な明るい村造りのため渾身の努力をもって皆様の信頼に答え期待に副うようにいたす決意でございます

今後共倍旧のご支援とご鞭達下さいますよう紙上を通じましてお願い申上げ就任のあいさつといたします。

人口　一三、三〇二人

男六、八二三人

女六、四七九人

世帯数　二、二二五

（昭和三十五年国勢調査による本村の人口並びに世帯概数は右のとおりであります。（田中係長））

おとしよりに楽しい一日

第四回敬老会　四百六十一人を招待

▽▽…秋晴れにめぐまれた十月三日の午後一時から社会福祉協議会主催、公民館、婦人会、青年団の後援で村内の七十…△△

▽▽…才以上のおとしより四六一人を公民館本館に招待して、第四回敬老会が盛大に行なわれた。おとしよりは部落の…△△

▽▽…青年団の方達の車で送られ開会時刻までにはさしも広い会場に一ぱい。ゆきとどいた婦人会、女子青年団役員の…△△

▽▽…接待にみんなにこにこ顔だった。…△△

社会福祉協議会長のあいさつにつづいて、特におとしよりのために毎年多額の贈り物を寄せて下さる日本レザー工業株式会社杉田亀蔵社長のお祝いの言葉と、長年にわたる健康保持のための有意義な話に一同感心、大勢の来賓の方々からも長寿を祝福された。

引きつづいて、学校の児童生徒青年団婦人会員の劇やおどりにすっかりご満悦。関係者の心からの協力のお蔭で今年もなごやかな内にも意義深い敬老の一日が終わりおとしよりは来年もまた再会することを約束して家路に着いた。

この行事が年毎に盛大になることは本当に喜ばしい。

敬老会員を代表してあいさつする杉田亀蔵氏

県公民館大会開く

春日部市体育館で

埼玉県公民館協会が結成されて本年は十周年を迎えました。それを記念する第九回県公民館大会が十月二十六日春日部市体育館で開かれました。

今回の大会の意義は特に先に社会教育法の一部が改正され『公民館の設置及び運営に関する基準』が告示になった。その内容中次の三項が研究討議の主眼点でありまし

記

一、『公民館の設置及び運営に関する基準』はどのような段階で実現をはかったらよいか。

二、公民館の振興をはかるため一般行政との連けいをどのようにしたらよいか。

三、公民館の管理運営の適正化をはかるにはどうしたらよいか。

た。村民各位にも十分ご理解下さるようお知らせと共にご期待申し上げます。

伊草分館新築落成す

大望の公民館が九月から着工しさる十月十五日完成しましたので二十三日村民初め来賓多数出席の上落成式が盛大に挙行されました。（八条支館より）

白熱の接戦を展開

潮止小中学校の合同運動会

紅白二組に分かれて

恒例の秋季大運動会は第三日曜の十六日、暑からず寒からずのよき日に恵まれ来賓、父兄の方々のたくさんおいでいただいて盛大に挙行された。

本年は紅白対抗種目を主に取りあげ全児童、生徒、職員が二組に分かれて覇を争い、出場者も応援者も一丸となり抜きつ抜かれつの大接戦を演じ、最後まで白熱した競争がくりひろげられた。

またその間に保育所の可愛らしい児童の遊戯や婦人会の見事な民謡踊り等で錦上花を添えて下さいました。

朝田PTA会長、恩田村長の祝辞をいただき、高橋副議長の音頭で万才を三唱し、つつがなく終了致しました。

来会皆様方には準備不行届きでいろいろご迷惑をおかけしたことと思います。あしからずお許し下さい。（川下記 ）

珠算競技大会に優勝

八幡中学校

三年生は関西方面に修学旅行中であったが、埼玉県農協南埼支所主催の珠算競技に一、二年の代表が出場して優勝、県信用農業協同組合連合会長及び春日部農林事務所長より表彰状とたくさんの賞品をいただいた。

▽団体競技　第一位
豊田栄子（二B）
小倉栄子（二B）
宇田川春江（一C）
▽個人競技　第一位
豊田栄子（二B）

合同運動会・中学生の組立て体操

村内小学校親善陸上競技会の優勝旗新調

十月三十一日、潮止小学校庭で開かれた村内小学校親善陸上競技会の優勝旗は、このほど教育委員会で立派なものが新調されたのでよい子たちは一層はつらつと日頃の力を競いあうことになって、この大会の意義を深めることになった。（教育委員会）

学校に寄贈

貝殻標本百種（八幡中）
上馬場　浮ヶ谷徳右衛門殿
立奏用木琴一式（八条小）
鶴ヶ曽根　堀井才三郎殿
体育用巻尺六個（各小中学校）
南後谷　藤波　信昭殿
教材用自動電話器一組（八幡中）
日本電信電話公社殿
（教育委員会）

七つのお祝いを

ことしも次の日程で

本年も左記日程によって、七つの祝いを実施することにきまりましたので、関係者の皆様には多分のご協力をいただき、前年に劣らない生活改善の実を挙げていただくようお願いいたします。

▽十一月十五日午前九時より、
八幡支館
▽十一月十五日午後一時より
八条支館
▽十一月十六日午前九時より
潮止支館

新記録続出の好成績

中体連だより　三中学の陸上競技会

本年最後を飾る三中学校の陸上競技会が秋晴れの十月二十五日潮止中学校庭で開催された。九時四十五分開会のことば、研究会長、教育長より激励のことばを受け、選手代表の宣誓から競技にうつる。平素練習にはげんだのと絶好の競技日和に恵まれ、新記録が続出好成績をおさめた。新記録作成者次の通り。

男子
▽一〇〇米　幡中　松田　昌平
▽二千米　潮中　早川　清満
▽八十米ハードル　条中　小幡　功
〃　〃　岡田　吉久
〃　幡中　高橋　平次
〃　〃　松田　昌平
〃　潮中　野崎　粂三
▽砲丸投　条中　高橋　彰
▽走高跳　〃　高橋　彰
▽八百米リレー幡中チーム
女子
▽一〇〇米幡中　小早川利江
〃　条中　石井喜代子
▽八十米ハードル幡中　山野佐智子
条中　石井喜代子
潮中　丹波　弘子
▽砲丸投　幡中　鈴木　恵子
〃　小林八重子
▽走巾跳　幡中　小早川利江
以上（川上記）

…潮中だより…

荒川和子さん

埼玉県知事より表彰

十月二十三日朝礼の時間に草加警察署次長福田明警部殿より荒川和子に賞状賞品を授与していただきました。

賞　状

防犯標語

二年　荒川和子殿

昭和三十五年開催の警察展に出品されたあなたの作品は審査の結果優秀と認めましたのでこれを賞します。

昭和三十五年十月二十日

埼玉県防犯協会連合会長
埼玉県知事　栗原　浩

牛乳と栄養

近ごろ、牛乳に対する人々の考え方が進んで乳幼児や病弱者だけの飲みものでなく、健康な人も飲むべきものだというようになってきました。

牛乳は、とくに子供の発育になくてはならない血や肉になる質のよいたんぱく質や、脳の発育に必要な乳糖、骨や歯をつくるカルシュームなどを含んでいます。その他成長に関係するビタミンB2がとくに多く、ビタミンAもかなり豊富に含まれており、他のいろいろの食品にくらべて消化吸収がよく、さらに衛生的な管理がなされているので「完全食品」と呼ばれています。

十一月一日から「牛乳週間」が行なわれましたが、これを機会に私たちは、少しでも多く牛乳を飲んで必要な栄養を十分にとり、健康で明るい生活を営みましょう。

（埼玉県畜産課）

関西の印象

潮止中学校

池に映える金閣寺

思い出に残る古都

十月五日の夕方、良い天候にめぐまれ、夜行列車に乗りこんだ私達は、東京駅から伊勢まで初めての永い旅行が始まった。車中の夢は明日に飛んでいた。

そして、文化の発生地、関西へ、永い間の念願が実現することに私達の胸は高鳴った。（三B）

▽伊勢へ△

朝、目がさめると汽車はもう伊勢へ着こうとしている。雨の中を内宮外宮を参拝し、二見が浦にむかった。海辺につくと、足もとがすべりそうでとてもこわかった。夫婦岩をみたが、絵はがきなどでみるのとすこし違った感じだった。遠くの沖には小さく舟が二、三そうみえた。大波が岩を打つ音小波がすーっと来て又去っていってしまう海の景色。まるで天然色の映画をみているようだった。（三B・中村敏子）

▽雨の奈良△

汽車で三時間余りで奈良に着いた。駅前でバスに分乗、法隆寺にむかった。南大門から中に入ると五重塔、金堂、講堂と整然としていて、仏教を深く信仰した聖徳太子がそぞろしのばれた。世界で最も古い木造建築といわれる建物にはさまれ、古代と現代の「時」を感じた。

翌日は雨の中を春日神社、興福寺、二月堂、三月堂、大仏殿とみてあるいた。大仏はさすがに大きかったが、道具も技術も未熟であった古代にできたが故に価値があると思った。（三A・小倉清吉）

▽二条城をみて△

二条城は昔将軍が住んだところだ。何百年という昔がこの城の中に残っている。各部屋には幾十畳とたたみが敷かれ、ふすま、らんま、てんじょうまで、高名な画家の絵が描かれている。廊下は「うぐいすばり」になっていて「キュッキュッ」という音がにぎやかだった。

昔の板ではあるが廊下は光っていて影がうつる。このように光っていては毎日多くの人手がかかっていると思った。そして昔の人はどうしてこんなにすばらしい家が作れたかということが不思議でならない。そして今の建物よりずっと丈夫そうである。こんなに立派で古い建物は日本にもそう多くないのだから私達はきづをつけたりしないで大切にし、私達の子孫に残したいと思う（三A・会田静子）

▽金閣寺で△

池に映る金閣は現実の金閣寺より美しく、二つの金閣寺が良い調和をみせていた。まわりをかこむ岩、木、山、水そういったものの中にいるとしぜんと静かな気分になってしまった。（三A・田中和明）

十月九日、雨にたたられながらも全員無事に帰着した。汽車の中でねむられなかったこと。旅館での友達との語らい。数々の名所旧跡、すべてが、印象深い思い出となって生涯忘れられないことと思う。そして機会があったら再び古都を尋ねたいとも思う。（三A）

◇喜びと悲しみ◇

◇出生（十月分）八条地区

字名	出生児名	世帯主名	続柄
八条	飯山広光	力蔵	孫

◇死亡（十月分）八条地区

字名	死亡者名	世帯主名	続柄
鶴曽根	小林寛蔵	とり	夫
鶴曽根	飯山増次郎	佐吉	父
小作田	吉田豊次	ダイ	夫

◇出生（十月分）八幡地区

字名	出生児名	世帯主名	続柄
中馬場	吉田三郎	松蔵	四男
大曽根	昼間浩司	利夫	三男
〃	細川順子	宗一	長女
西袋	白石均	金太郎	三男
〃	中嶋富美代	栄次郎	孫
南後谷	香取三郎	順三	三男

◇死亡（十月分）八幡地区

字名	死亡者名	世帯主名	続柄
浮塚	松田ふさ	政吉	母

修学旅行

八幡中三年　大熊昭二

約五日間にわたる長い修学旅行も九日朝、無事に終わった。家についたぼくは緊張でこわばった体が急にゆるんですぐねてしまった。しかし、ねておきたぼくの心は、五日間の反省やまた奈良、大阪、京都といった各名所旧跡を見学してきた感想、それぞれ違った意味ある特徴、親もみたことのない立派な美しいところを中学三年にして早くも目におさめたのである。親も「今の子どもは幸福だ」ということがはっきりわかる。

ぼくたち一行八幡、八条、潮止の三中学約一八〇余人は東京駅七時三十三分発の列車で伊勢に向かった。夜行列車なので外の景色はみることができなかったが、各駅ごとにみる産物等でおおよその土地の様子などがわかった。心がはずんで、なんとなしにさわぐぼくたちは、長い夜をほとんどねむらずに伊勢に着いた。

長い列車の旅でとてもつかれた伊勢に着いたのは朝八時ごろ、外宮見学のあと太い杉の木のたちならんでいる中を、また五十鈴川の清流で手を洗い、伊勢内宮を参拝した。汽車のつかれもみせず元気よくガイドさんの声を聞くぼくたちにとって、はじめて見たり、聞いたりすることで驚いた。

伊勢参りをすませた一行は奈良に向かい、世界最古の木造建築、話題の法隆寺を六日の日に見学した。こうして一日も夢のようにすぎてぼくたちはとてもきれいな「春日ホテル」で一夜をすごした

翌朝五時に目がさめたぼくは食事、そして町での買物をすませた後奈良公園の鹿の群をぬって春日大社に参拝した。奈良を午前中見学したが、どれもうまれてはじめて見るような珍しいものであった中でも十六メートルはあろうという大仏を目前にした時は、夢でもみているような気持だった。その他猿沢の池や春日大社境内にあそぶ鹿の群、若草山のなごやかな風景は印象に残った。

奈良をあとに大阪にむかったぼくたちは、すぐバスに分乗、大阪の名所をバスの中から見学した。繁華街の中をバスは雨の大阪城へ中之島を経て、造幣局見学など大阪の町をガイドさんの声に耳をかたむけてすごした。今でもあの巨大な岩石の城壁をもつ大阪城をはっきり思い出すことができる。こうして奈良、大阪を見学したぼくたちはいよいよ待望の京都に向かった。静かな裏通りにある松井旅館に一泊したのち京都御所、平安神宮、智恩院、三十三間堂、清水寺、金閣寺、東西両本願寺、二条城、嵐山このように京都は非常に名所旧跡の多いところで、つぎつぎと見ていくぼくの心はとてもたのしかった。

しかし、数多い名所旧跡の中でも、今なお記憶にあるのは、絵に書いたような金閣寺、二条城の造り、忘れがさのある智恩院、友禅染めが見られる嵐山など。また京都で有名な碁盤の目のような通りをバスは気持よく走っていく。うねり曲がっている東京の道路ではあじわえない気分であろう。いずれにせよ奈良、大阪、京都というような名所をバスや徒歩で見学してきたぼくたちは、非常によい資料を得たのであるから、これからの勉強におおいに役立てようと思う。

また五日間という長い間本当に団体行動はよく守れたと思う。奈良、大阪を見学した際、多少の雨が降っていたが別に見学に影響したということはなかった。最後の日の京都では上着も脱ぎたくなるような上天気であった。四日間にわたる見学を終えたぼくたちは、八日夜京都駅八時二十六分発の列車に乗りこんだ。帰りの列車では行きには見られなかったようなたのしいふんいきになり、ちっともつかれもみせず無事におわった。先輩三人が京都駅で送ってくれたことも旅行の大きな思い出である。

続「父の座」

岩渕正男

第二の故郷として住みついてから十五星霜があっという間に過ぎてしまった。住んでみると良い村である。最低生活ではあれ、安心して生きられ、父親の貫禄を失なわないで済まされているからだ。住むことにより、生きられるということは倖せであり、感謝の気持ちで一ぱいだ。平和な健康な村であれと願い微力ではあるが持てる情熱を捧げ尽したい。

ただ僕よりももっと貧しいと思われる人のいるのは淋しい。自業自得な人は別として、そうした不幸な人々をなんとか幸福にしてあげたいものと思う。

× × ×

親の責任において防げる害の子供の事故が非常に多い。生命にかかわるような危険な遊びにも目が届かないのか案外平気でいるのはどうしたことだろう。

母親の不注意から伝染病で愛児を死なした場合 でも「うちの人（夫）がすぐ医者につれて行かないからこんなことになったんだ」と泣き悲しむ母の姿には唖然とさせられる。責任を夫にすり換え、母親の愛情という名声を売りものにされたのではやりきれない。子に対する母としての愛情の深さはよくわかるが、その愛し方に問題がある。

子供は一人前の人間になるまでは父母の責任において立派に育ててやるべきだ。

いま父親の立場から教育の中立性について考えてみるのもまた意義があると思うがどうだろう。成長して判別心がつくと自分の責任において右とか左の思想を抱き、その運動に一生を捧げ、生涯その理想実現に進む者も多いがこれは倖せな人である。そうしたいと決心しながらできない者が多い社会だからだ。行動そのものが「法」に反しない限り本人の自由であり妨害はできない。

ただ思慮分別の定まらない年少者に対する一方に偏した理論をつぎ込むことはつつしまねばいけない。独善的解釈なり一時の感情をもって押しつけたり脅迫し、私的制裁を加えて恐怖心を起こさせるような行為は厳に戒めなければならない。教師も人間である以上完全ではないのでそうした偏向教育に無意識のうちに落ちる場合もあろうが、年少者に対する教育は常に公正であるべきだし、個性の発展と人格の完成に努力してほしい。

いうまでもなく教育については人間の将来に重大なる影響を及ぼすからだ。きょうの誤りを犯すことが将来において取返しのつかないこともある得るからであり、慎重に考慮してほしいものだ。

× × ×

某月某日、父兄会の席上校長に対し教師の行為に関して勧告する父兄があった。それは教師に対する不満らしかったが、殺気さえ帯びた個人攻撃でしかなかった。一切の私情を抜きにして、論理的に話すのなら耳を傾けられたが、常識を逸脱した然も「ウソ」であるように思えて聞くに堪えなかった。教師をかばう心よりもその父兄に反パッする正義心が強くなり頬のほてる思いだった。

なにごとによらず「ウソ」が真実化されては困る。ぼくも一父兄として子供に与える影響を心配するあまりその父兄に対して質問した。「家庭環境により組を区別しろという希望らしいが正気な方ではないらしいね」思いがけない手強い相手の出現に面喰ったらしく狼狽の色が見えた。訳のわからない高飛車な言葉つきが崩れかかる威厳を支えようとする見苦しいあがきを ばくろしているようだった。

ぼくは追い打ちをかけた。「父兄の職業なり貧富の区別等で組を編成しない教師に不満らしいが絶対に反対です。これほど封建的な反動的なことがいまの学校で行なわれる訳はないでしょう。男女共学が実現し、人間全体を一つの理想に向かって発展させようというデモクラシーの時代ではありませんか。いろいろの家庭の子供達が相学び相補いつつ、現実の社会に通じる人格を養成していくのがいまの教育なんですよ。貧乏人の子だからといって差別をするのは人道上からも許せませんね」

戦後派社長というその父兄の惨敗にむしろ同情したくなった。教師は信頼すべきである。愛児を托す以上、信じなくてはいけないからだ、人を信ずることのできない孤立主義者を一ばん嫌う。

真実に忠実にやることでも往々にして中傷や妨害を受けることがある。他人に価値を聞くまでは「ケチ」をつけたがる根性は事大思想の裏返しである。

× × ×

浅学にムチ打ってながい歳月どうやら職責を完うできた。補わねばならない点も多いので、より前進するためには他人の忠告にも耳を傾けるにやぶさかではない。某社長に対する僕の発言が暴言ではなかったかと同じ父の座にある立場から反省している。いつもそうだがとかく主観的判断でものを考えたがるからだ。既成の社会通念や処世的な常識は重んじるように心がけて いるつもりだ。そこから事務能力の蓄積を考えエネルギッシュな 村行政 に寄与したいと思う。

教師の行動なり能力を云々するとき、既成の善悪の価値判断でのみ決めないで、精一ぱいに努力しているんだという美しい面からも批判してやりたい。社会というものはそんな美しい場所であるということを子供達にも教えてやりたいからだ。美しい社会で安らかに生きられる倖せをかみしめつつひたぶりに子の成人のみを祈らずにはいられない。それが精神的に肉体的に後退を意味し、父の座のすり減って消えてゆくことを意味している。そう知りつつもなお子供達が社会のためになるような人間になってほしいためと明け暮れ念じている。父の座とは味の素のようなものである。

政治への関心深めよう

政治が悪いとか、たよりにならないとかいろいろ不平不満の声をききます。もし政治に不信があるとすればそのもとになる選挙を正しく行なわれていないことに気がつかなければなりません。

今日では、私たちの生活のすみずみまでが直接間接に政治につながっています。政治のよしあしは食物・住宅・衣類、それから教育や健康など日常の生活に影響してくるのです。私たちが少しでも生活を楽しく、働きがいのある世の中にしようとするならば、政治に対して正しい意見をもち、それを選挙の際にりっぱに示すことです。

きたる十一月二十日に衆議院議員の総選挙・最高裁判所裁判官の国民審査ならびに参議院議員地方区選出議員の補欠選挙が行なわれますが、国と国民生活の運命をになうために出る人たちが選挙法で定められたルールを守らないようでは、清潔な政治、明るい生活は望めません。

主権者である選挙民が鋭く目を見開いて、誘惑や情実にまどわされないようにし、選挙においてまじめに責任ある投票をすることが公明選挙を実現するためにもっとも大事なことです。

（県選挙管理委員会）